

開催趣旨

「建設技術展2024近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびに建設コンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信しています。さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
長谷川 朋弘氏

近畿建設協会
谷本 光司 理事長

土木学会 関西支部長
青木 伸一氏



来場者数

11/7 [木]
11/8 [金]
延べ**17,336**人

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	32	33
環境	10	10
コスト削減	2	2
安全・安心	30	50
施工	40	44
維持・更新	49	56
DX・ICT	53	58
団体	8	11
学校	13	13
合計	237	277

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「上下一体となった水道・下水道の地震対策のあり方」

11/7 [木] 10:45-12:15



山上 訓広氏

山上 訓広氏(国土交通省 国土技術政策総合研究所 上下水道研究部 能登上下水道復興支援室 室長)の基調講演に続き、**鎌田 泰子氏**(神戸大学大学院 工学研究科 教授)をコーディネーターに、**吉澤 源太郎氏**(大阪市水道局 工務部配水課 課長代理)、**浮田悦男氏**(神戸市建設局 下水道部道路課 課長)によるパネル討論が行われました。



NPO法人あすの夢土木 シンポジウム

「建設現場のAI戦略へ～取り組み事例と今後の展開～」

11/7 [木] 15:30-17:00



阿部 雅人氏

建設現場での取り組み事例を、**㈱大林組**、**西松建設**、**㈱五洋建設**が発表した後に、**阿部 雅人氏**(土木学会 構造工学委員会 AI-データサイエンス実践研究小委員会 副委員長)が「土木業界におけるAI活用の取り組みと今後の課題」をテーマに基調講演を行いました。



学生向けインフラDX技術コンテスト 発表会・表彰式 [近畿建設協会]

11/7 [木] 13:15-13:50

インフラDX技術コンテストの一次審査の上位3名が作品を発表し、審査を経て最優秀賞と優秀賞を表彰しました。



橋梁模型製作コンテスト

11/7 [木] 10:30-12:30 会場製作部門 会場製作

11/8 [金] 10:00-12:00 会場製作部門・学生部門 載荷試験